

ささえあいまさご 30年度上期の活動概要報告 30年11月
ささえあいまさご管理運営委員会



この組織は社会福祉協議会真砂地区部会、第31地区町内自治会連絡協議会、老人会等が3年間話し合って立ち上げ5年経過の組織です。

1. 利用件数（平成30年4月～9月）
男性1 女性381 計382件
ほとんど女性の利用（99.7%）
30年度見込み800件

解説

高齢の一人暮らしの方を支える組織（利用者は長寿の女性の方がほとんどです。）

2. 利用地区
真砂1丁目～5丁目（利用者はマンション居住者が大半）
戸建て地区40件10% 賃貸住宅地区48件13% マンション住宅地区293件77%

解説

中高層住宅で、一階に転居出来ない状況の高齢者の生活も支えています。（エレベーターのない、エレベーターが止まらない階の方のゴミ出し、買物、病院通い）真砂は分譲マンション地区の高齢化が急速に進んでいます。

3. 年代
90歳以上78件（20%）
80歳以上221件（58%）約6割
その他高齢者161件（42%）

解説

真砂は高齢化が急速に進んでいる。自治会役員の高齢化、社会福祉協議会、スポーツ振興会等、どこを見ても著しい高齢化が進んでいます。老人会も高齢化しすぎて、リーダーがいなく活動出来ない状況。（元気で小回りの利く担い手がいらない）介護保険利用者の急激な増加が見込まれ、コンパクトなささえあい活動が必要となっています。（身近に元気な担い手が多くいる状況）

主な支え合い実績

ゴミ出し 148件

部屋・トイレ・風呂等掃除	87件
病院付添	34件
買物	29件
薬局	23件
金融機関付添	10件
夕食手伝い	7件
草刈り庭木剪定	6件
布団干し取り込み	2件
簡単な修理・大工仕事	4件
簡単な衣類縫い、ボタン付け等	2件
引っ越し（老人ホーム入居）作業手伝い	3件
各種届出付添	5件
窓拭き	5件
薬塗布・体拭き	2件
車椅子で買物・各種用事・理容美容病院付添	62件
老々介護者支援	125件
要支援・要介護者支援	381件
骨折者への支援	246件
難病者への支援	105件
ガン治療中の方への支援	112件

話し相手と見守りは全依頼者に対応しています。

解説

ゴミ出しが今年に入り急速に増えました。利用のトップになりました。予想されたことです。真砂地区の高齢化は急速に進んでいます。80歳90歳の方が急速に増えるので、今後とも増えると予想されます。

高齢になると、骨折等で入院すると急速に筋肉が落ち重い物を長く持てなくなる。骨粗鬆症も進み、圧迫骨折が発生するので、重い物が持てなくなる。エレベーターの止まらない階、エレベーターのない住宅は人の助けがないとゴミが運び出さない。毎週のゴミ出しは近所の方に頼みづらい。近所の方も高齢者になってきたことから、更に頼みづらくなる。

高齢化進み骨折者からの依頼が246件と多い。依頼の64%を占め、骨折が介護に結びつくかが理解できます。（骨粗鬆症の高齢女性の骨折による依頼が多いことです。）

夫婦で80歳を超えた方は一方が介護状態になると、介護疲れ防止の観点から人の助けが必要になります。そのような方の依頼が125件と急速に増えました。今後とも増えると予想されます。

車椅子を利用して支え合い活動をする事例も62件と増えて来ました。骨折、難病により、歩行困難となった方を車椅

子を利用して生活を支えています。

各種難病者への生活支援は病院付添、片付け掃除、窓拭き、風呂掃除、買物等105件と難病をお持ちの方の生活を支える活動を行っています。

がん治療中の方への支援は112件です。この方の診断検査付添、入院準備、入院付添、退院後の買物、経過観察付添、掃除等生活支援を行っています。一人暮らし高齢者には感謝されています。

4. 支え合い活動人数

以上の支え合い活動の活動人数は延べで303人です。

5. ささえあいまさご事務所移転

今までの事務所は本年7月に移転しました。新事務所は真砂5-21-29で、FAX番号は043-307-9544です。

先般の強烈な風台風で一部建物に被害を受けましたが、市（家主）に応急の修理をしていただきました。伸びたままの事務所の雑草を刈り取りました。事務者はセコムが警備しています。

6. ささえあいまさごの活動へのご理解をお願いします。

- ①真砂の街は高齢化が進展し、一人暮らし高齢者が急速に増加しています。ささえあいまさごへの依頼にそのことが明確に出てきました。骨折者への支援が増えました。家の中で転んでの事故です。2回、3回と骨折する方が増えてきました。リハビリに付き添い、調理を手伝い、病院に付き添い、買い物をして支えています。後期高齢者は特に転倒骨折に気をつけましょう。
- ②高齢になると足・腰・手足の筋肉が落ち、重い物を持ってない。その上、体のバランスも取りにくくなり、しっかりと歩けなくなります。健康寿命を超えた年齢の方から買物、ゴミ出しの依頼が増えました。またリューマチの進行により物をしっかりと掴めない、買物・ゴミ出し・縫物・洗濯・アイロンかけ・髪洗い等の依頼があります。
- ③80歳を超え、体が思うように動かなく、意欲・気力も低下してきます。病院等に通って、疲れて家に帰って来ると、買物、食事作りをするのが嫌になります。毎日の配達弁当も飽きる、毎日弁当の孤食も嫌になる。そんなことから食事作りの手伝い依頼があり、夕食作りの手伝いを実施しています。
- ④認知症の方は初期の頃そのことが認識出来ない、支え合いを実施していますが、認知症と診断された時は専門職の方に対応を依頼します。
- ⑤健康寿命を超えたあたりから、あちこちの病院通いが多くなります。その為病院付添の依頼が増えてきます。少子化、晩

婚化の社会ですので、子育て中の子供に全てを頼れないのが実情です。

老老介護の方の依頼も増えています。このような方を支援しないと共倒れになります。この支援は大切なことだと認識しています。介護離職に成らないように微力ながら支援しています。

- ⑥ご主人を亡くし、遺族年金だけで、地域で安心して生涯を終える為に、この支え合い活動は重要です。お互い様の助け合いの活動を推進していく為に立ち上げた組織です。30分500円の利用料をいただいております。その内の200円を事務所の運営経費に利用させていただいております。

事務所の光熱費、電話代、事務費、事務員等の費用は全て賄えません。そこでこの組織を維持する為、維持会員になっていただく方を募り、年会費一口千円をお願いしています。

法人にも5口、10口とお願いしています。世の為、人の為ささえあいまさごへの役員、事務作業をする方は無償で奉仕しています。ケアマネージャーの役割の方は耳の遠い方に対応する高規格のスマホ電話代を負担していただく等で組織を支えています。

- ⑦今は少子化の社会です。親を支える子供は減少しています。老後の親を世話する兄弟姉妹の数が少ない時代です。一人っ子の長男長女の結婚も増え、この夫婦はいずれ両方の高齢の両親を支えることが予想されます。晩婚化も進んでいます。子育てをしながら高齢の親を世話することが予想されます。核家族化で親の近くに子供が住むとは限らない時代です。いずれ高齢の両親の介護が予想されます。女性の社会進出等で高齢の親を支える依頼もあります。働きながら子育てし、高齢の親を支える人も増えています。誰でもいずれ支援・介護を必要とする時がおとずれます。以上のことから世の為、人の為に尽くすお互い様の地域の助け合い・支え合いが身近に必要です。人に対する愛情の輪を地域に根付かせ、人として当然の活動として広めて行きましょう。この活動を実践しているささえあいまさごへの地域のご支援をいっそうお願い致します。

- ⑧支え合いを実行してくださる方は協力員と申します。利用料は1時間500円でしたが、30分間500円になりました。協力員の方には500円のうち300円をお支払いしています。1時間だと600円となり通常のパート代と比べて、とても安い金額です。

ささえあいまさごはお互いの様の助け合い組織ですので、会を維持する援助（維持会費・寄付）は貴重な支援です。こ

れに市の建物を利用させていただき、更に役員の無償奉仕による事務処理等で活動が成り立っています。

⑨基本的に、ささえあいまさごの業務は土日祝日休みです。

ささえあいの依頼相談窓口 ☎070-5557-8922
午前9時～午後5時